

隔内に出血がないことを確認した。

症例2: 81歳女性。約1年前に大動脈狭窄症に対して生体弁による大動脈弁置換術を施行した。術後経過は良好であったが、一時的に置いた心房リードが抜去できなかった。外来フォローアップ中、胸部CTにて遺残リードが上行大動脈内に迷入していることが発見された。リードが上行大動脈内で血管壁に固定されており、血栓形成や移動の可能性も少ないと判断して、慎重に経過観察している。

結語: 心臓手術後に抜去できなかった一時的ペースメーカリードが血管内に迷入した極めて稀な2例を経験した。1例は頸動脈内に迷入していたため経カテーテル的に抜去し、もう1例は上行大動脈内にとどまっているため慎重に経過観察している。残存した一時的ペースメーカリードが問題を起すことは稀であるが、重大な合併症につながりうる血管内への迷入を来すことがあり、十分な注意が必要である。

4. 家族歴を有する若年性洞不全症候群の一例

(東京医科大学病院 循環器内科)

六本木瑠理、矢崎 義直、小林 絃生
廣瀬 公彦、金山 純二、齋藤友紀雄
白井 靖博、里見 和浩、五関 善成
山科 章

【主訴】 眼前暗黒感

【現病歴】 30歳代、女性。20歳代より年数回の眼前暗黒感を認めていたが、経過観察していた。2015年12月頃より症状の頻度が週数回と増加したため近医を受診。ホルター心電図にて10秒間の洞停止を認めたため、当科紹介受診し、精査加療目的にて入院となった。

【既往歴】 16歳、甲状腺機能亢進症

【家族歴】 母、49歳で甲状腺機能亢進症、洞不全症候群のため恒久的ペースメーカー埋込み。

【臨床経過】 入院時モニター心電図にて眼前暗黒感自覚時に一致した10秒近い洞停止を頻回に確認した。心臓超音波、心臓MRI、冠動脈造影を施行したが、いずれも異常所見を認めなかった。運動負荷心電図では、負荷終了直後に変行伝導を伴う頻脈性心房細動を認めた。心臓電気生理学検査では、洞機能、房室伝導能の低下を認めた。心室性不整脈は誘発されず、心房期外刺激にて再現性をもって頻脈性心房細動が誘発された。恒久的ペースメーカー埋込み後、ピルジカイニド負荷試験を行ったが、陰性であった。

【考察】 母親と同じ臨床経過を辿り、心房細動が再現性をもって誘発されたことから遺伝的素因の関与が強く疑われた。若年性の洞不全症候群症例は、器質的心疾患の除外だけでなく、家族歴の聴取も重要と考えられた。

5. 経皮的大動脈弁拡張術が外科的治療へ移行に有効であった高度大動脈弁狭窄症の一例

(東京医科大学茨城医療センター 循環器内科)

大嶋桜太郎、東谷 迪昭、木村 一貴
阿部 憲弘、小松 靖、柴 千恵
田中 宏和

症例は80歳女性。高血圧症と脂質異常症で近医に通院中。2016年4月某日夜間に呼吸困難を自覚し救急受診。心エコー上、収縮能は保たれていたが、大動脈弁に平均圧較差を130 mmHg認め、大動脈弁狭窄症に伴う急性非代償性心不全と診断し、ICUに入室の上、NPPV管理とした。しかし第2病日、安静時に増悪をきたし、コントロール不能と判断し、第3病日に経皮的大動脈弁拡張術を施行した。大動脈弁弁口面積: 0.3 cm²、平均大動脈弁圧較差: 98 mmHgであり、18 mmのバルーンで拡張。平均大動脈弁圧較差: 57 mmHg、大動脈弁弁口面積: 0.63 cm²まで改善したため手技終了とした。術後は著明に改善し、外科的治療を行う方針とした。リハビリテーション後、第18病日に退院。

外科的治療へのブリッジとして有効であった経皮的大動脈弁拡張術の一症例を経験したため報告する。

6. 奇異性塞栓に伴う下肢動脈急性閉塞を疑った一例

(戸田中央総合病院 心臓血管センター内科)

渡邊 暁史、木村 揚、土方 伸浩
中山 雅文、佐藤 秀明、湯原 幹夫
竹中 創、小堀 裕一、内山 隆史

47歳男性。右脛骨近位端骨折で入院中、第19病日下肢静脈エコーにて右ヒラメ静脈内血栓を認めた。既に足関節が可動となっていた為リハビリテーション勤行とし、第33病日の下肢静脈エコーで血栓は消失し第38病日退院となった。第57病日に労作時呼吸苦、翌日より左下肢の痺れと疼痛を認め第60病日当院受診し左浅大腿動脈(SFA)、右中葉および左上・下葉肺動脈、および右膝窩静脈に血栓像を認めた。同日SFAに対し血栓除去術および下大静脈(IVC)フィルターを留置し抗凝固療法を開始した。第68病日経食道心エコー検査で、卵円孔開存症(PFO)および右左シャントの存在が証明され、SFA塞栓はPFOを介した奇異性塞栓症によるものと考えられた。PFOを有する奇異性血栓の再発予防として外科的、経カテーテル的閉鎖術についても検討したが、現在のところ閉鎖術が優れているという有用なエビデンスはない為、抗凝固療法のみで経過観察とした。